

コンサートをお楽しみいただくために

携帯電話の電源を
お切りください。



マナーモードでも、作動しますと近くの方が気になる場合がございます。その他にも、アラーム付き腕時計など、音が鳴らないようご配慮ください。

Before the performance, you must not forget to turn off your mobile phone. Even when it is set on silent mode, if it vibrates it may disturb people around you. Please also make sure that your wristwatch alarm, and any other electronic devices, do not make any noise.

補聴器のご利用には
ご注意ください。



補聴器を正しく装着されていない場合、音を発する場合がございます。音漏れがないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。

For our guests who use a hearing aid, please insert the device carefully. If you do not do so properly, it may emit a noise. Please check that it is firmly attached and set at a suitable volume.



九州交響楽団は、上記のマナーアップに取り組んでいます。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

The Kyushu Symphony Orchestra is endeavouring to raise awareness of good manners, such as those we have outlined above, in order to enhance the concert experience for everyone.

Thank you in advance for your understanding and compliance.

撮影、録音は
お断りいたします。



開演中の写真撮影、録音、録画は堅くお断りいたします。

No photography, filming and recording are allowed. All use of cameras and recording equipment is strictly forbidden throughout the performance.

演奏は
最後の余韻まで
お楽しみください。



多くの演奏家は、最後の一音の余韻が消えるまで集中を保っています。一瞬の静寂の後の怒濤の拍手は、感動を何倍にも味わえます。拍手や「ブラー」の掛け声などのタイミングには、お心遣いをいただきまますよう、お願いします。

※感染予防対策のため、現時点では、ブラー等の声援は控えていただけようお願いしております。

Please enjoy the entire performance until the last lingering sound fades out. Most musicians playing in an orchestra maintain high concentration until that point. Your loud applause after a moment of silence will contribute towards a much more impressive ending to the performance, for everyone concerned. Bearing this in mind, please take care to choose the right timing to applaud and cheer (for example, "Bravo!").

8 / 10

三大交響曲のタペ
Three Great Symphonies

8月10日(水)開演:午後6時45分

10th Aug.(Wed.), 2022 18:45

指揮 鈴木優人

Conductor : Masato Suzuki

コンサートマスター 扇谷泰朋

Concertmaster : Yasutomo Ogitani

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」

Symphony No.5 in C Minor Op.67

I . Allegro con brio

II . Andante con moto

III . Allegro

IV . Allegro - Presto

フランツ・シューベルト

Franz Schubert

交響曲 第7番 口短調 D 759「未完成」

Symphony No.7 in B Minor D 759

I . Allegro moderato

II . Andante con moto

(休憩) intermission

アントニン・ドヴォルザーク

Antonín Dvořák

交響曲 第9番 木短調 作品95「新世界より」

Symphony No.9 in E Minor Op.95 "From the New World"

I . Adagio - Allegro molto

II . Largo

III . Scherzo: Molto vivace

IV . Allegro con fuoco

※本公演はライブ配信(有料)を行います。詳しくはP.50「事務局からのお知らせ」をご覧ください。

※〈プログラムノート〉はP.7~P.10をご覧ください。

主催/(公財)九州交響楽団

協賛/まごころはこぶ

久留米運送株式会社

助成/福岡県・福岡市

後援/福岡県・福岡市・国立大学法人九州大学・(公財)福岡市文化芸術振興財団・

NHK福岡放送局・(公財)九州文化協会・福岡文化連盟・九響後援会

ライブ配信事業は三菱UFJフィナンシャル・グループのご支援を受けて実施しています。



指揮 鈴木優人

Conductor

Masato
Suzuki

東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオーケラ音楽賞、第29回(2021年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者／クリエイティヴ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共に演ずるほか、本年4月にはハンブルク交響楽団にも客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ、モンテヴェルディ：歌劇「ポッペアの戴冠」(2017)、ヘンデル：歌劇「リナルド」(2020)ではバロック・オペラの新機軸として高く評価され、後者は第19回佐川吉男音楽賞を受賞。2022年5月のグルック：歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」(勅使河原三郎新演出)で新国立劇場に指揮者として初登場。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演。録音はBCJとのJ.S.バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)など多数。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はない各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

8.10 水 三大交響曲のタベ



©Marco Borggreve

Masato Suzuki received a bachelor's and a master's degree from Tokyo National University for Fine Arts and Music (now Tokyo University of the Arts), and completed courses at the Royal Conservatory in The Hague. He was awarded 20th Art Encouragement Prize for New Artists from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, the 18th Hideo Saito Memorial Fund Award, and the 18th Hotel Okura Music Award. Suzuki is Principal Conductor of Bach Collegium Japan (BCJ), Conductor and Creative Partner of Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, and Music Director of Ensemble Genesis. He has conducted orchestras including NHK Symphony Orchestra, and Yomiuri Nippon Symphony Orchestra. In 2017 and 2020, he produced and presented "Masato Suzuki Produces BCJ Opera Series". Händel's "Rinaldo" (2020) earned high praise as baroque opera's innovation. Executive Producer of the Chofu International Music Festival, stage direction, planning and production, and composition, Suzuki's boundary-less activities are expected much from various quarters. Suzuki is a visiting professor at Kyushu University.

プログラムノート

8.10 水 三大交響曲のタベ

長野俊樹(音楽学、福岡教育大学名誉教授)

ベートーヴェン(1770-1827)

交響曲 第5番 ハ短調 Op.67 「運命」

第1楽章冒頭の〈運命動機〉が有名。ベートーヴェンは「運命はこのように戸をたたく」と言ったそうだが、信頼性に欠ける。断片的にならべトーヴェン以前の作曲家にも、彼自身の他の作品にも使用例がある。この交響曲の独創性は運命動機の発明にあるのではなく、それを全楽章にわたって徹底的に活用・展開した手腕にある。

第1楽章: Allegro con brio(速く生き生きと)、ハ短調、2/4拍子、ソナタ形式。徹頭徹尾、運命動機を連続的に展開する、前例のない集中力と、運命動機のリズムがもつ簡潔な駆動力が、強烈なエネルギーを生み出す。第2主題は先導するホルンの運命動機の変化形であり、伴奏には低音弦楽器で運命動機が断続的に響き、一貫性を支える。

第2楽章: Andante con moto(ゆっくり動きをつけて)、変イ長調、3/8拍子、変則的な変奏曲。主題はおおまかにみて3部分——低弦で始まる冒頭部分、クラリネット+ファゴットから金管楽器などの堂々たる行進曲風にいたる部分、次への橋渡し部分。変奏は3つ。第2変奏が展開部的。短い短調部分をはさみ、第3変奏は再現部的で、終結部がつく。

第3楽章: Allegro(速く)、ハ短調、3/4拍子、三部形式。主部は2つの主題——冒頭の分散和音風の旋律と、ホルンが奏する決然とした運命動機。中間部はハ長調でフーガ風。主部の再現はずつとピアニッシモ、弦楽器はピッティカート。ティンパニの連打で伴奏された移行部が大きく盛りあがってゆき、中断なく第4楽章へ。

第4楽章: Allegro(速く)、ハ長調、4/4拍子、ソナタ形式。勝利の凱歌。ピッコロとトロンボーンとコントラファゴットが加わる。移行部主題はホルンが勇壮に奏する。第2主題の3連符リズムは運命動機と関連し、これ以外でも低音部などに絶えずそのリズムが現わ

れる。展開部末に第3楽章が簡略に再登場してから再現部。終結部はどんどんテンポを速め、勢いを増す。

作曲／1807年を中心とし、1808年の早い時期に完成 初演／1808年12月22日、ウィーンのアン・デア・ウイーン劇場。編成／ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部
使用楽譜／バーレンライター

シユーベルト(1797-1828)

交響曲 第7番 ロ短調 D759「未完成」

第7番はなぜ未完か。1822年の時点で、シユーベルトは第1楽章、第2楽章、第3楽章の20小節めまでを完成させた。1823年4月グラツの音楽協会から名誉会員への推挙の知らせが届いたので、1824年その未完のままの原稿を仲介者に送ったが忘れられた。1865年ウィーンの指揮者ヨハン・ヘルベック(1831～77)が発見・初演した。

常識的には第7番は確かに「未完」ではあるが、芸術的価値は揺らがない。シユーベルトはベートーヴェンなどの伝統とはまったく異なる、未曾有の境地に達したのだ。

第1楽章：Allegro moderato(ほどよく速く)、ロ短調、3/4拍子、ソナタ形式。まず低弦に序奏主題。第1主題部は弦楽器を伴奏としてオーボエとクラリネットで始まり、中心のロ短調のまま決然と終わる。移行部はホルンとファゴット。4小節のわずかな身振りだけで第2主題部のト長調へ、ふわっと着地する。小結尾は第2主題部のつづき。展開部は序奏主題により峻厳な展開をみせる。再現部は第1主題部から。終結部は序奏主題による。

第2楽章：Andante con moto(ゆっくり動きをつけて)、ホ長調、3/8拍子。A—B—A—B—終結部という構成。展開部のないソナタ形式という説もある。冒頭3小節間ホルンとファゴットに出る動機は第1楽章序奏主題と関連し、頻繁に現われる。最初のAとBの間に、第1ヴァイオリンのみで奏する4小節があり、ホ長調から嬰ハ短調に移行する。たったこれだけだが神秘的な楽句であり、終結部にも登場する。2回めのBはイ短調で開始。終結部は断片的で、使用

楽器も少ない。確固とした流れの形成を拒むかのようにして閉じる。

作曲／詳細不明。1822年10月30日、オーケストラ総譜の作成に着手 初演／1865年12月17日、ウィーンの楽友協会ホール 編成／フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部
使用楽譜／バーレンライター

ドヴォルザーク(1841-1904)

交響曲 第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」

1892～95年、ドヴォルザークがプラハ音楽院教授を辞し、ニューヨークのナショナル音楽院院長をつとめていた時期の作品である。弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」やチェロ協奏曲も同様。副題にある「新世界」はアメリカ大陸のことだが、命名者は不明。

第1楽章：ホ短調。Adagio(遅く)、4/8拍子の序奏ののち、Allegro molto(とても速く)、2/4拍子、ソナタ形式。第1主題部はホルンで、第2主題部はフルートとオーボエで、小結尾部はフルート独奏で、それぞれ開始する。展開部はまず小結尾主題。次に第1主題と小結尾主題が交錯する。終結部でもこの両者が活躍する。

第2楽章：Largo(幅広く緩やかに)、変ニ長調、4/4拍子、三部形式。まず管楽器によるコラール(宗教的な合唱様式)。主部はイングリッシュホルンで、あの有名な旋律。少しテンポを速め、もの悲しくほの暗い中間部。突然明るくオーボエからフルートへと舞曲的な身振りの経過句ののち、フォルティッシモで第1楽章第1主題との楽章主部の主題が同時に出現。落ち着いてから主部が短く繊細に再現し、コラールで閉じる。

第3楽章：スケルツォ、ホ短調、3/4拍子。主部A、少し遅くして中間部B、短くA。チェロからヴィオラへ第1楽章第1主題が奏され、もう一つの中間部C。「初めに戻れ」の指示で、A—B—Aを再び演奏。終結部に第1楽章第1主題と主部Aの断片。

第4楽章：Allgro con fuoco(速く火のように)、ホ短調、4/4拍子、ソナタ形式。短い序奏に続き第1主題部。移行部ののち、第2主題はクラリネット。そして小結尾部。展開部は第1主題中心、後半で

第1楽章第1主題、第2楽章主部主題、第3楽章Aの断片が奏される。再現部は第1主題の強奏のち断片的。移行部なしで第2主題部。テンポを落として弱音の小結尾部。ホルンが広い音域で第1楽章第1主題を奏するのをきっかけに、終結部に突入。第4楽章第1主題・第1楽章第1主題・第2楽章コラールと主部主題・第3楽章Aを回想する。

作曲／1892年12月頃～1893年夏頃 初演／1893年12月16日、ニューヨークのカーネギー・ホール 編成／フルート2(ピッコロ持ち替え)、オーボエ2、イングリッシュホルン、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、テューバ、ティンパニ、トライアングル、シンバル、弦5部
使用楽譜／アルティア

※編成は演奏の都合上、異なる場合がございます。ご了承ください。

【ソナタ形式の概略】

18世紀半ば以降のヨーロッパ芸術音楽ではソナタ形式という楽曲構成法が活用されているので、多少とも心得ておくと鑑賞の役に立つ。ただし以下はあくまでも概略。

提示部：第1主題部—移行部—第2主題部—小結尾部

展開部（提示部の主題の分解・操作・結合などと頻繁な転調。最後に再現部の準備）

再現部：第1主題部—移行部—第2主題部—小結尾部

終結部

[多くの場合、提示部に反復記号がある。その通り実行するかは演奏者に任される。]



北海道から沖縄まで、全国34都道府県をネットワーク。

第一交通グループ
全国事前予約

0120-382-333
ご旅行やご出張などで各地へお越しの際は、ぜひご利用ください。

タクシーを中心につながるさまざまな事業

- タクシー事業
- バス事業
- マンション分譲事業
- 戸建分譲事業
- 不動産賃貸事業
- ファイナンス事業
- 介護・医療事業
- 自動車整備事業
- コインパーキング事業
- 国際事業
- 船舶事業
- ソフト開発事業 etc.

総合生活産業
第一交通産業グループ DAITCHI
〒802-8515 北九州市小倉北区馬借2丁目6番8号 TEL093-511-8811